

5. 横浜市や神奈川区の取組について

1)「わが町かながわ 50選」について

問33 神奈川区では、区民の皆様のご意見をもとに、神奈川区らしい風景など、身近な場所・お気に入りの場所50か所を、「わが町 かながわ 50選」として選定しています。「わが町 かながわ 50選」をご存じですか。(○は1つ)

- ・ 『「わが町 かながわ 50選」散歩道ガイド』を持っている」は5.8%、『「わが町 かながわ 50選」散歩道ガイド』を持っていないが知っている」は24.9%であり、合わせて3割以上の人が何らかの形で認知していることがわかる。また「わが町 かながわ 50選」は知らないが、とても興味がある」と回答した人も49.4%となっており、約半数が関心を示している。「わが町 かながわ 50選」は知らないし、興味もない」は15.6%にとどまっている。
- ・ 平成18年度調査と比較すると、大きな変化はみられないが、『「わが町 かながわ 50選」散歩道ガイド』を持っていないが知っている」が3.3ポイント下がっており、「わが町 かながわ 50選」は知らないが、とても興味がある」が2.5ポイント上がっている。

図 「わが町かながわ 50選」の認知度

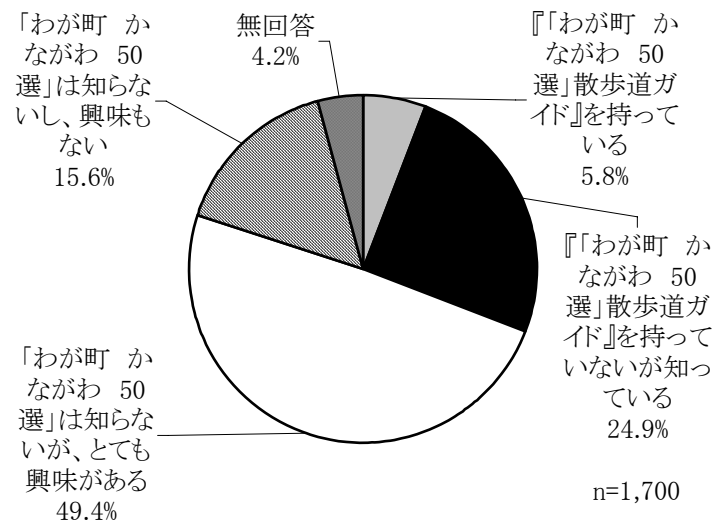
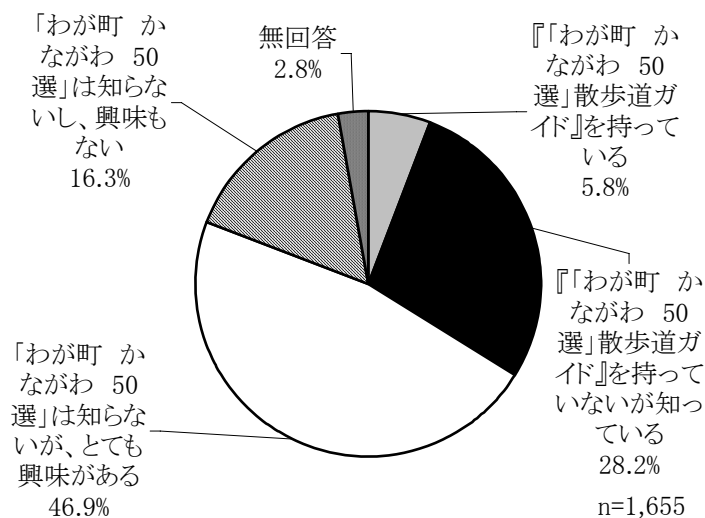


図 「わが町かながわ 50選」の認知度（平成18年度調査）



■男女別「わが町かながわ 50選」の認知度(F1×問33)

- 男女別に認知度をみると、女性の方が『「わが町 かながわ50選」散歩道ガイド』を持っていないが知っている」がやや高く、男性の方が「「わが町 かながわ50選」は知らないが、とても興味がある」がやや高い。

■年齢別「わが町かながわ 50選」の認知度 (F2×問33)

- 年齢別に認知度をみると、『「わが町 かながわ50選」散歩道ガイド』を持っている」は「60～64歳」で1割となっており、他の年齢と比べて高くなっている。「「わが町 かながわ50選」は知らないが、とても興味がある」についても60代で高くなっている。「「わが町 かながわ50選」は知らないし、興味もない」は若年層で高く、特に20代では3割を超えている。

表 男女別、年齢別 「わが町かながわ50選」の認知度

問33 「わが町 かながわ 50選」をご存じですか

		全体	『「わが町 かながわ 50 選」散歩道ガ イド』を持っ ている	『「わが町 かながわ 50 選」散歩道ガ イド』を持っ ていないが 知っている	「わが町 か ながわ 50 選」は知らな いが、とても 興味がある	「わが町 か ながわ 50 選」は知らな いし、興味も ない	無回答
全 体		1,700	99	423	840	266	72
		100.0	5.8	24.9	49.4	15.6	4.2
F 1 性別	男性	713	5.6	21.9	53.0	17.5	2.0
	女性	951	6.2	27.9	48.1	14.5	3.4
	無回答	36	0.0	5.6	13.9	8.3	72.2
F 2 年齢	20～24歳	62	1.6	14.5	43.5	38.7	1.6
	25～29歳	115	0.0	13.9	52.2	33.9	0.0
	30～34歳	144	2.8	22.2	48.6	26.4	0.0
	35～39歳	187	2.7	27.8	46.5	22.5	0.5
	40～44歳	165	3.6	37.6	43.0	15.8	0.0
	45～49歳	127	7.9	26.0	53.5	11.8	0.8
	50～54歳	115	7.0	28.7	45.2	15.7	3.5
	55～59歳	174	7.5	27.6	52.9	8.0	4.0
	60～64歳	167	10.8	24.0	58.1	4.8	2.4
	65～69歳	118	7.6	23.7	58.5	8.5	1.7
	70～74歳	119	6.7	30.3	51.3	5.9	5.9
	75歳以上	180	9.4	18.9	47.8	13.3	10.6
	無回答	27	0.0	0.0	0.0	3.7	96.3

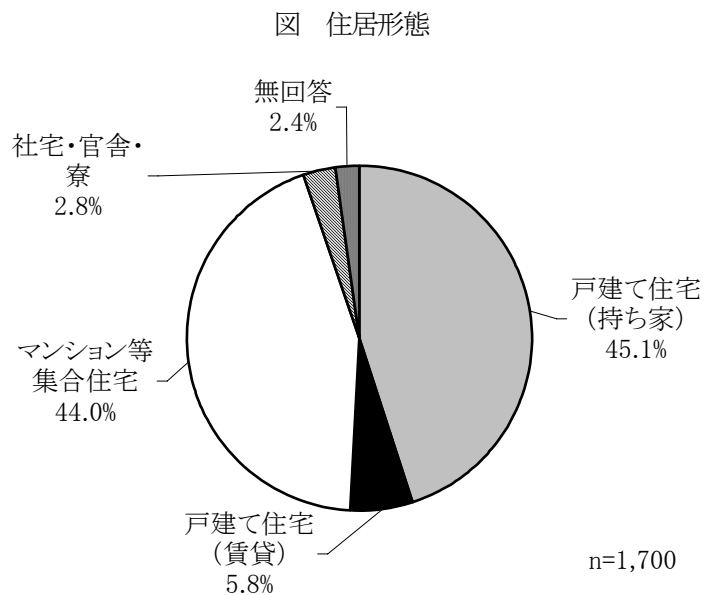
2)「木造耐震診断制度」について

(1)住宅の形態

問34 横浜市の「木造耐震診断制度(※)」についておたずねします。はじめに、あなたの現在の住居の形態をお答えください。(〇は1つ)

(※) 昭和56年5月31日以前に建築確認を得て着工した木造個人住宅について、横浜市が無料で耐震診断を行う制度

- ・ 「戸建て住宅(持ち家)」(45.1%)と「マンション等集合住宅」(44.0%)が拮抗している。「戸建て住宅(賃貸)」は5.8%、「社宅・官舎・寮」は2.8%である。



■居住地域別 住居形態 (F3×問34)

- 居住地域別に住居形態をみると、「戸建て住宅 (持ち家)」の割合が高いのは「六角橋」、「羽沢」、「白幡浦島丘」でいずれも6割を超えている。「神奈川幸ヶ谷」では7割以上が「マンション等集合住宅」である。

■居住年数別 住居形態 (F10×問34)

- 居住年数別に住居形態をみると、居住年数が高いほど「戸建て住宅 (持ち家)」の割合が高く、居住年数が短いほど「マンション等集合住宅」の割合が高い。「居住年数20年以上」の7割は「戸建て住宅 (持ち家)」となっている。

表 居住地域別、居住年数別 住居形態

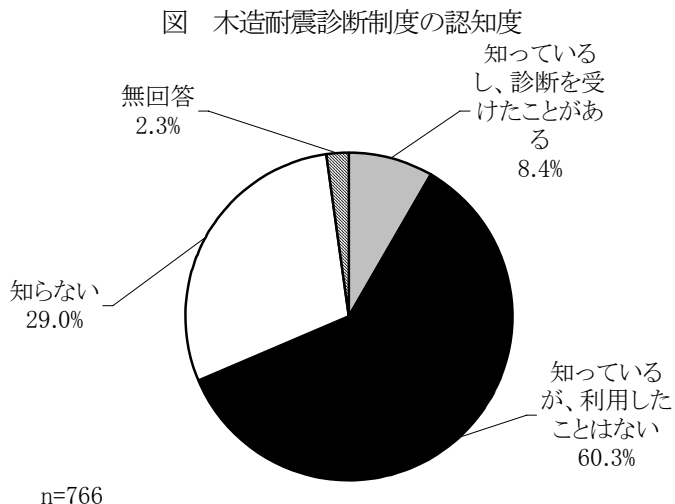
問34 住居形態

		全体	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (賃貸)	マンション等集合住宅	社宅・官舎・寮	無回答
全 体		1,700	766	98	748	48	40
		100.0	45.1	5.8	44.0	2.8	2.4
F 3 居住地域	青木	168	47.0	4.2	42.9	4.8	1.2
	大口七島	106	47.2	10.4	37.7	2.8	1.9
	片倉三枚	120	45.8	2.5	48.3	1.7	1.7
	神奈川幸ヶ谷	169	18.3	4.1	74.0	3.0	0.6
	神ノ木西寺尾	130	41.5	6.2	47.7	3.8	0.8
	子安入江	122	37.7	5.7	55.7	0.8	0.0
	白幡浦島丘	121	62.0	8.3	26.4	3.3	0.0
	神西神北	135	47.4	10.4	38.5	2.2	1.5
	神大寺	88	35.2	1.1	58.0	3.4	2.3
	菅田	132	42.4	5.3	50.8	0.8	0.8
	羽沢	83	62.7	2.4	32.5	1.2	1.2
	松見	81	56.8	3.7	34.6	3.7	1.2
	三ツ沢	122	54.1	7.4	33.6	4.1	0.8
六角橋	89	64.0	10.1	21.3	4.5	0.0	
	無回答	34	11.8	0.0	17.6	0.0	70.6
F 10 居住年数	3年未満	292	20.9	8.2	63.0	6.8	1.0
	3～5年未満	170	19.4	8.2	67.1	4.7	0.6
	5年～10年未満	296	33.8	5.7	56.8	2.7	1.0
	10～20年未満	319	45.1	4.7	45.8	1.9	2.5
	20年以上	597	70.4	4.7	21.1	0.8	3.0
		無回答	26	30.8	0.0	38.5	3.8

(2)「木造耐震診断制度」の認知度

問35 あなたは「木造耐震診断制度」をご存知ですか。(○は1つ)

- 「戸建て住宅（持ち家）」に住んでいる人（766人）に制度の認知度をきいたところ、「知っているが、利用したことはない」（60.3%）が最も多く、次いで「知らない」（29.0%）、「知っているし、診断を受けたことがある」（8.4%）となっている。



■居住地域別 木造耐震診断制度の認知度（F3×問35）

- 居住地域別に制度の認知度をきいたところ、回答者数が少ないので比較が難しいが、全ての地域で「知っているが、利用したことはない」が最も多くなっている。特に「松見」では7割を超えて最も割合が高い。「知っているし、診断を受けたことがある」では「神ノ木西寺尾」（14.8%）で他の地域に比べて高くなっている。また「知らない」については、「神大寺」で最も高く4割を超えている。

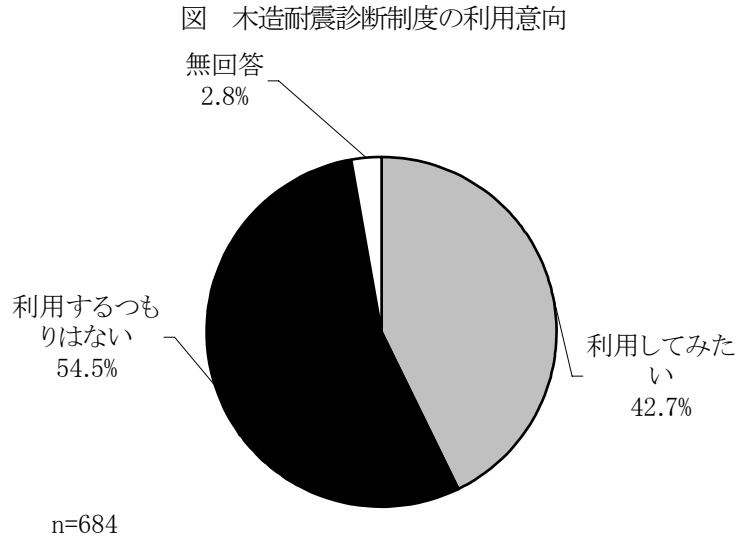
表 居住地域別 木造耐震診断制度の認知度

		問35 「木造耐震診断制度」をご存知ですか				
		全体	知っているし、診断を受けたことがある	知っているが、利用したことはない	知らない	無回答
全体		766	64	462	222	18
		100.0	8.4	60.3	29.0	2.3
F3 居住地域	青木	79	10.1	58.2	30.4	1.3
	大口七島	50	2.0	68.0	24.0	6.0
	片倉三枚	55	9.1	70.9	18.2	1.8
	神奈川幸ヶ谷	31	9.7	61.3	29.0	0.0
	神ノ木西寺尾	54	14.8	50.0	35.2	0.0
	子安入江	46	10.9	50.0	32.6	6.5
	白幡浦島丘	75	10.7	61.3	28.0	0.0
	神西神北	64	9.4	56.3	29.7	4.7
	神大寺	31	6.5	48.4	45.2	0.0
	菅田	56	5.4	57.1	37.5	0.0
	羽沢	52	9.6	55.8	32.7	1.9
	松見	46	8.7	73.9	17.4	0.0
	三ツ沢	66	4.5	62.1	30.3	3.0
	六角橋	57	5.3	64.9	22.8	7.0
	無回答	4	0.0	100.0	0.0	0.0

(3)「木造耐震診断制度」の利用意向

問36 あなたはこの制度を利用してみたいですか。(○は1つ)

- ・ 「利用するつもりはない」(54.5%)が「利用してみたい」(42.7%)を上回っている。



■居住地域別 木造耐震診断制度の利用意向 (F3×問36)

- ・ 居住地域別に制度の利用意向をきいたところ、回答者数が少ないので比較が難しいが、「利用してみたい」の割合が多いのは「羽沢」と「神大寺」である。「利用するつもりはない」については、「松見」、「六角橋」、「三ツ沢」、「菅田」でいずれも6割を超えている。

表 居住地域別 木造耐震診断制度の利用意向

問36 この制度を利用してみたいですか

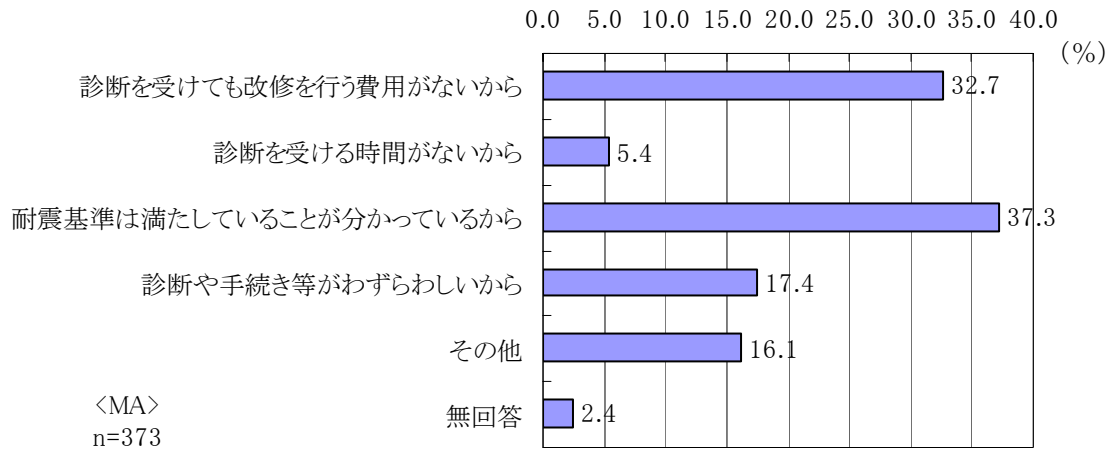
		全体	利用してみたい	利用するつもりはない	無回答
全 体		684	292	373	19
		100.0	42.7	54.5	2.8
F 3	青木	70	42.9	57.1	0.0
居住地域	大口七島	46	45.7	50.0	4.3
	片倉三枚	49	46.9	49.0	4.1
	神奈川幸ヶ谷	28	46.4	53.6	0.0
	神ノ木西寺尾	46	37.0	58.7	4.3
	子安入江	38	42.1	52.6	5.3
	白幡浦島丘	67	44.8	49.3	6.0
	神西神北	55	40.0	56.4	3.6
	神大寺	29	58.6	41.4	0.0
	菅田	53	39.6	60.4	0.0
	羽沢	46	58.7	37.0	4.3
	松見	42	35.7	64.3	0.0
	三ツ沢	61	36.1	60.7	3.3
	六角橋	50	34.0	64.0	2.0
	無回答	4	25.0	75.0	0.0

(4)「木造耐震診断制度」を利用しない理由

問 37 「制度を利用するつもりはない」のはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「制度を利用するつもりはない」と回答した 373 人にその理由をきいたところ、「耐震基準は満たしていることが分かっているから」(37.3%)が最も多く、次いで「診断を受けても改修を行う費用がないから」(32.7%)、「診断や手続き等がわずらわしいから」(17.4%)、「その他」(16.1%)、「診断を受ける時間がないから」(5.4%)となっている。

図 制度を利用するつもりはない理由

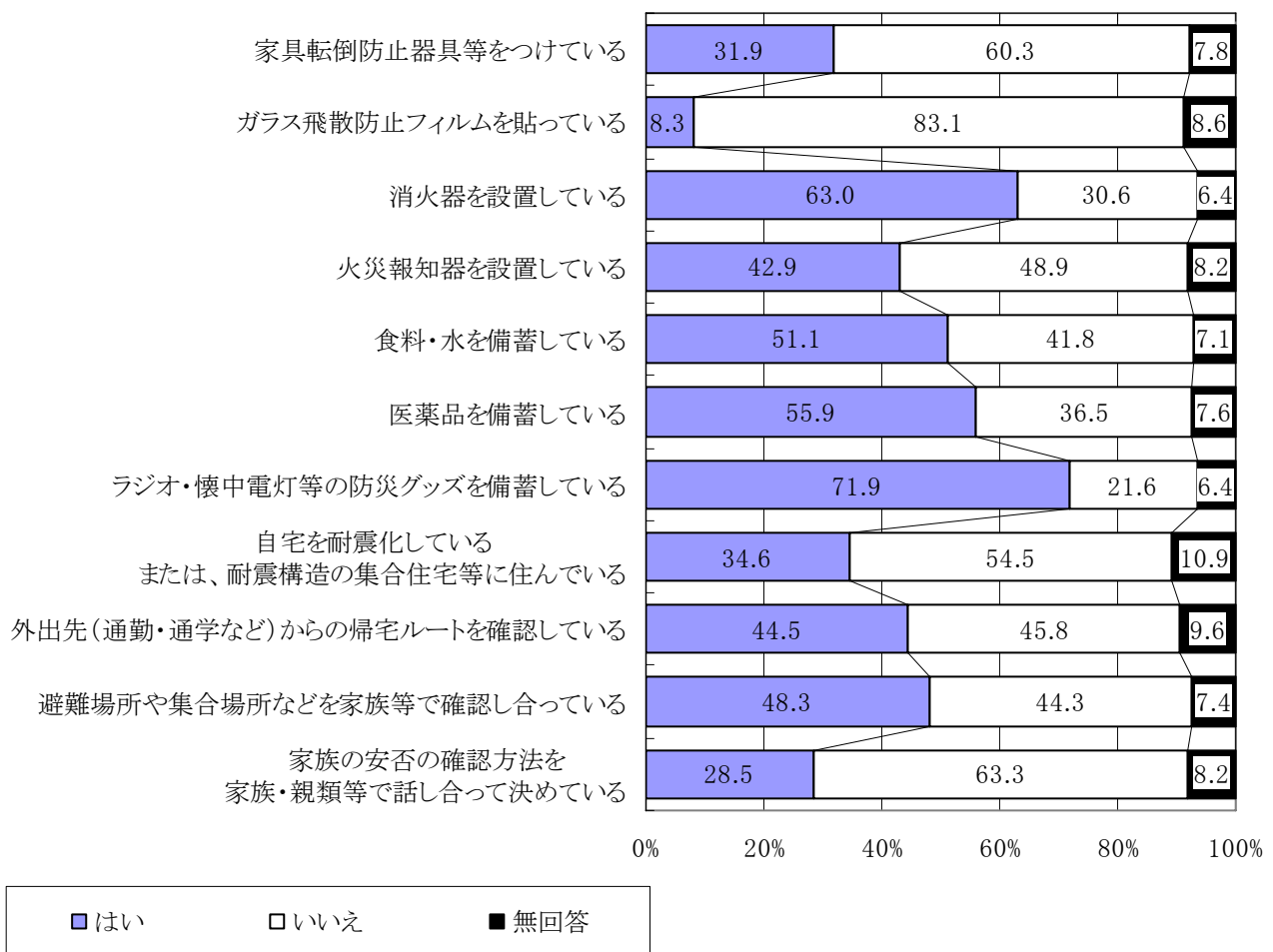


3) 災害時に備えた取り組みについて

問 38 あなたのご自宅では、災害時に備えて以下のことを行っていますか。
 (各項目の1、2のいずれかに○をしてください)

- 各家庭の災害時に向けた取組状況をきいたところ、「はい」の割合が高いのは、「ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」(71.9%)、「消火器を設置している」(63.0%)、「医薬品を備蓄している」(55.9%)、「食料・水を備蓄している」(51.1%)で、この4項目は半数以上が取り組んでいる項目である。
- 次いで、「避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている」(48.3%)、「外出先(通勤・通学など)からの帰宅ルートを確認している」(44.5%)、「火災報知器を設置している」(42.9%)、「自宅を耐震化している、または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる」(34.6%)、「家具転倒防止器具等をつけている」(31.9%)、「家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている」(28.5%)、「ガラス飛散防止フィルムを貼っている」(8.3%)となっている。

図 災害時に備えた取り組みについて



■年齢別 災害時に備えた取り組み(F2×問38)

- 年齢別に取り組み状況をみると、「家具転倒防止器具等をつけている」、「消火器を設置している」、「医薬品を備蓄している」については「65～69歳」で最も高くなっている。「ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」については「70～74歳」で最も高い。「避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている」は「60～64歳」で最も高い。「食料・水を備蓄している」、「家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている」は「55～59歳」で最も高い。「ガラス飛散防止フィルムを貼っている」と「火災報知器を設置している」については「35～39歳」が最も高く、「外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している」については「40～44歳」で高い。「自宅を耐震化している、または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる」は「45～49歳」で最も高い。項目によって異なるが、全体的には20代の実施率が低く、高齢者の実施率が高い傾向がみられる。

表 年齢別 災害時に備えた取り組みについて（「はい」の割合、無回答を含む）

問38 ご自宅では、災害時に備えて以下のことを行っていますか

		全体	家具転倒防止器具等をつけている	ガラス飛散防止フィルムを貼っている	消火器を設置している	火災報知器を設置している	食料・水を備蓄している
全 体		1,700	542	141	1,071	729	869
		100.0	31.9	8.3	63.0	42.9	51.1
F 2 年齢	20～24歳	62	17.7	9.7	48.4	48.4	43.5
	25～29歳	115	19.1	6.1	47.8	45.2	37.4
	30～34歳	144	27.8	7.6	53.5	50.7	47.2
	35～39歳	187	34.8	12.8	55.6	57.2	51.3
	40～44歳	165	36.4	8.5	61.8	55.2	57.6
	45～49歳	127	37.0	10.2	66.1	52.8	47.2
	50～54歳	115	33.0	7.0	70.4	46.1	48.7
	55～59歳	174	33.9	8.6	69.5	35.6	60.3
	60～64歳	167	32.3	7.2	70.7	37.1	56.3
	65～69歳	118	44.9	8.5	75.4	36.4	53.4
	70～74歳	119	30.3	8.4	69.7	29.4	55.5
	75歳以上	180	31.7	6.1	70.0	30.0	53.3
	無回答	27	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0

		医薬品を備蓄している	ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	自宅を耐震化しているまたは、耐震構造の集合住宅等に住んでいる	外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している	避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている	家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている
全 体		951	1,223	589	757	821	485
		55.9	71.9	34.6	44.5	48.3	28.5
F 2 年齢	20～24歳	59.7	54.8	37.1	53.2	41.9	24.2
	25～29歳	54.8	50.4	25.2	50.4	34.8	22.6
	30～34歳	58.3	68.8	31.3	43.1	39.6	27.1
	35～39歳	58.8	68.4	36.4	43.9	44.9	29.4
	40～44歳	58.2	70.9	43.0	53.9	51.5	33.9
	45～49歳	48.0	76.4	48.0	47.2	42.5	22.8
	50～54歳	59.1	73.9	36.5	46.1	48.7	21.7
	55～59歳	54.0	75.9	37.4	46.6	54.6	37.4
	60～64歳	59.3	85.0	31.7	50.3	59.9	29.3
	65～69歳	60.2	81.4	36.4	44.9	57.6	30.5
	70～74歳	58.8	87.4	28.6	37.8	58.8	35.3
	75歳以上	53.9	72.2	30.6	31.7	47.8	26.7
	無回答	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0

■居住地域別 災害時に備えた取り組み(F3×問38)

- 居住地域別に取り組み状況を見ると、「家具転倒防止器具等をつけている」、「ガラス飛散防止フィルムを貼っている」、「医薬品を備蓄している」については「片倉三枚」で最も高い。「消火器を設置している」は「松見」で最も高い。「火災報知器を設置している」と「自宅を耐震化している、または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる」は「神奈川幸ヶ谷」で突出して高くなっている。「食料・水を備蓄している」については「松見」と「羽沢」で高く、「ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」は「松見」と「白幡浦島丘」で高い。「外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している」については「羽沢」で最も高く、「避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている」は「六角橋」で最も高い。「家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている」は「青木」で最も高い。

表 居住地域別 災害時に備えた取り組みについて（「はい」の割合、無回答を含む）

問38 ご自宅では、災害時に備えて以下のことを行っていますか

		全体	家具転倒防止器具等をつけている	ガラス飛散防止フィルムを貼っている	消火器を設置している	火災報知器を設置している	食料・水を備蓄している
全 体		1,700 100.0	542 31.9	141 8.3	1,071 63.0	729 42.9	869 51.1
F 3	青木	168	34.5	9.5	60.7	48.2	56.0
居住地域	大口七島	106	23.6	7.5	63.2	45.3	47.2
	片倉三枚	120	37.5	12.5	58.3	42.5	50.8
	神奈川幸ヶ谷	169	33.1	11.2	67.5	76.3	46.2
	神ノ木西寺尾	130	33.8	6.2	63.1	47.7	47.7
	子安入江	122	26.2	11.5	65.6	52.5	47.5
	白幡浦島丘	121	33.1	8.3	61.2	28.9	59.5
	神西神北	135	31.1	8.9	65.9	43.0	55.6
	神大寺	88	31.8	5.7	47.7	36.4	55.7
	菅田	132	34.1	3.8	68.2	26.5	45.5
	羽沢	83	36.1	7.2	66.3	32.5	61.4
	松見	81	37.0	7.4	77.8	45.7	61.7
	三ツ沢	122	28.7	8.2	63.9	31.1	54.1
	六角橋	89	33.7	6.7	65.2	31.5	44.9
	無回答	34	5.9	2.9	20.6	11.8	8.8

		医薬品を備蓄している	ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	自宅を耐震化しているまたは、耐震構造の集合住宅等に住んでいる	外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している	避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている	家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている
全 体		951 55.9	1,223 71.9	589 34.6	757 44.5	821 48.3	485 28.5
F 3	青木	53.6	74.4	37.5	43.5	47.0	33.3
居住地域	大口七島	55.7	64.2	26.4	47.2	43.4	22.6
	片倉三枚	65.0	78.3	31.7	50.8	49.2	30.8
	神奈川幸ヶ谷	55.0	72.8	64.5	49.1	45.6	32.5
	神ノ木西寺尾	53.8	73.1	37.7	43.1	46.9	30.0
	子安入江	56.6	65.6	43.4	42.6	38.5	23.8
	白幡浦島丘	58.7	81.0	27.3	51.2	49.6	28.1
	神西神北	57.0	68.9	29.6	42.2	50.4	29.6
	神大寺	59.1	72.7	29.5	40.9	55.7	27.3
	菅田	55.3	73.5	26.5	44.7	54.5	28.0
	羽沢	59.0	73.5	26.5	54.2	56.6	32.5
	松見	49.4	81.5	35.8	40.7	45.7	27.2
	三ツ沢	58.2	68.0	29.5	41.0	50.8	30.3
	六角橋	62.9	79.8	29.2	42.7	61.8	25.8
	無回答	8.8	14.7	5.9	5.9	5.9	2.9

〈 参考:横浜市民意識調査との比較 〉

- 横浜市民意識調査（平成 19 年度）の結果と比較すると、一部設問内容は異なるものの、「家具の転倒防止」、「消火器の設置」、「食料や飲料水の準備」、「ラジオ・懐中電灯等の準備」など、全体的に神奈川区の方が実施している家庭の割合が高いことがわかる。

表 災害時に備えた取り組みについて（横浜市民意識調査との比較）

	神奈川区 n=1,700	横浜市 n=3,698
家具転倒防止器具等をつけている	31.9	24.5
ガラス飛散防止フィルムを貼っている	8.3	—
消火器を設置している	63.0	38.6
火災報知器を設置している	42.9	—
食料・水を備蓄している	51.1	39.2
医薬品を備蓄している	55.9	—
ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	71.9	56.5
自宅を耐震化している または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる	34.6	10.2
外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している	44.5	—
避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている	48.3	30.3
家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている	28.5	20.8

※平成 19 年度横浜市民意識調査の調査項目にないものは「—」で表示している。